

記者発表資料

新名神(三重県区間)・東海環状道(大安 IC～東員 IC) 交通状況および開通効果 ～開通後半年経過・様々な効果が発現～

新名神高速道路(新四日市 JCT～亀山西 JCT)、東海環状自動車道(大安 IC～東員 IC)が平成 31 年 3 月 17 日(日)に開通しました。開通して半年が経過、8 月の交通状況および、開通効果をとりとまとめましたので、お知らせいたします。

<交通状況(8月)> **別紙 1**

●東名阪道から新名神への交通転換が進展

<開通効果> **別紙 2**

●三重県の観光活性化

- ①渋滞を気にする必要がなくなり観光施設に約 70 分長く滞在!
- ②東海環状道の開通で観光客が約 1 割増加!
- ③「新名神の開通が観光のきっかけ」になったと約 9 割が回答(Web アンケート結果)

●東名阪道の渋滞緩和により物流が効率化

- ④渋滞緩和により三重県～愛知県間の自動車部品の輸送時間が短縮!
- ⑤効率的な輸送が可能となり輸送コストが大幅削減!

新名神・東環開通効果検討会議では、新名神高速道路・東海環状自動車道などの開通効果について調査・検討をおこなっています。

同会議のホームページでは交通状況や開通効果などを適宜報告しています。

(<http://www.cbr.mlit.go.jp/hokusei/tsunagaruyan/index.html>)



記者発表クラブ

中部地方整備局記者クラブ、中部経済産業記者会、愛知県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ、四日市市政記者クラブ、桑名市政記者クラブ、鈴鹿市政記者クラブ、亀山市政記者室

問い合わせ先

【新名神・東環開通効果検討会議に関する全般的なお問い合わせについて】

国土交通省 中部地方整備局 北勢国道事務所

TEL: 059-363-5511 (代表)

副所長 たなか かずよし 田中 一能 計画課長 かじはら ゆうじ 梶原 裕二

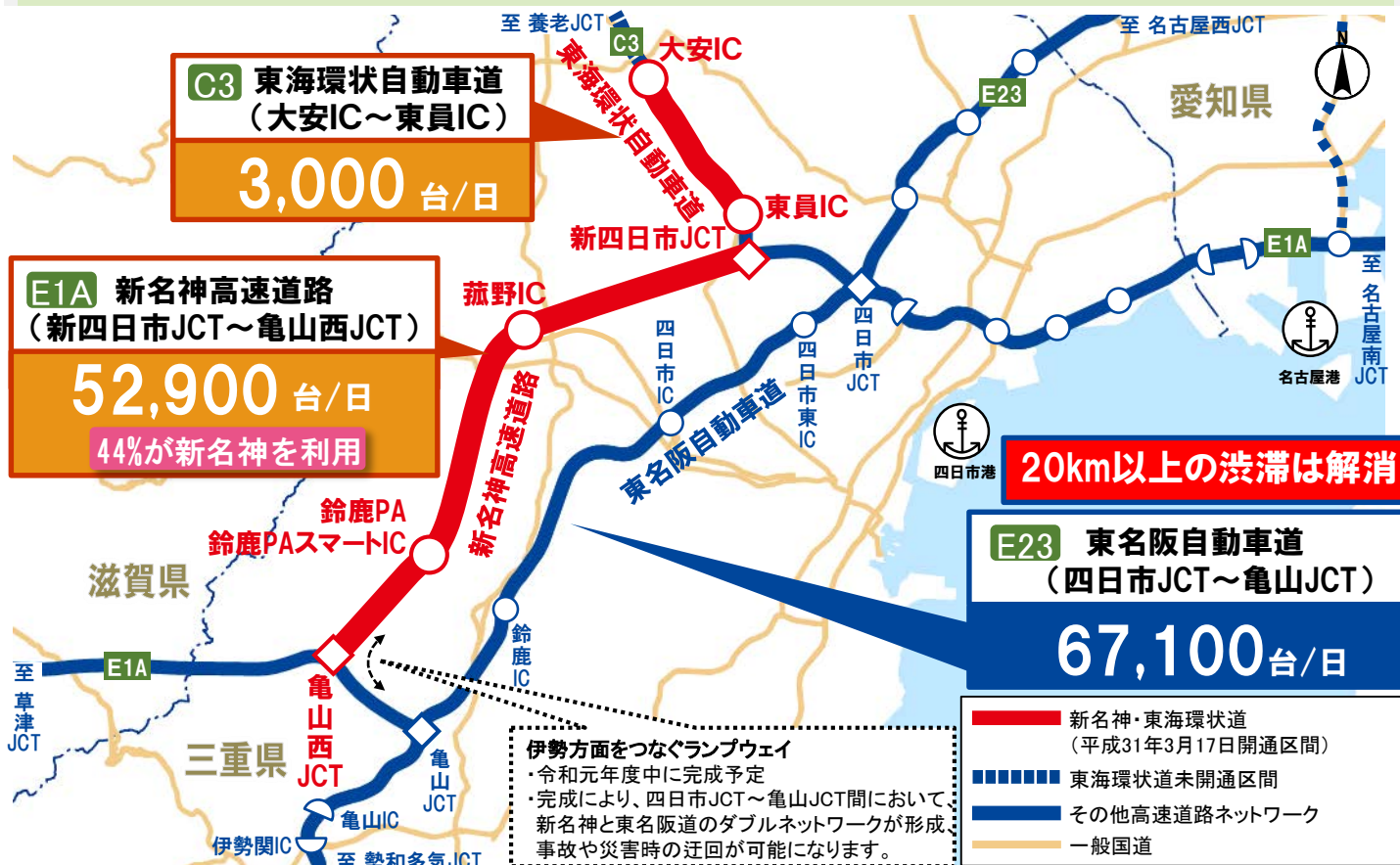
【新名神・東海環状道の交通状況について】

中日本高速道路(株)名古屋支社 広報・CS課

TEL: 052-222-1183 (直通)

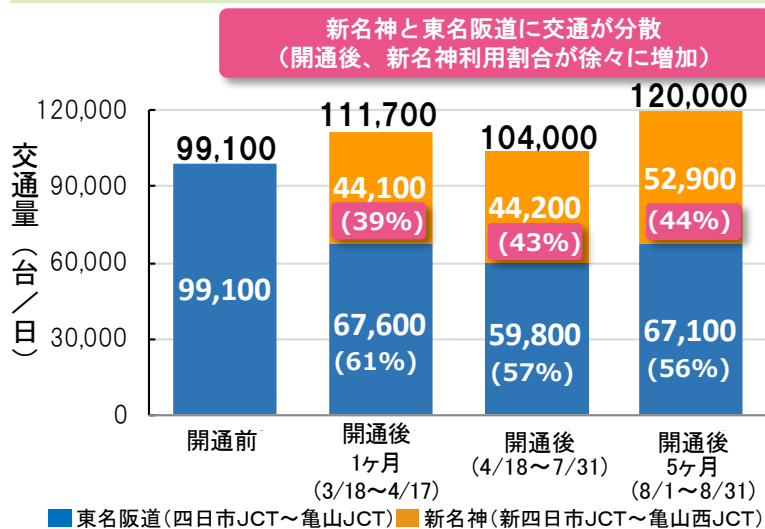
- 開通後、東名阪道から新名神に交通の転換が徐々に進み、新名神の利用割合は44%まで増加。
- 東名阪道(四日市JCT~亀山JCT)では、10km以上の渋滞がおおむね解消され20km以上の渋滞は発生せず。
- 東海環状道(大安IC~東員IC)の交通量は3,000台/日で推移。

東名阪道・新名神・東海環状道の交通量(8月)

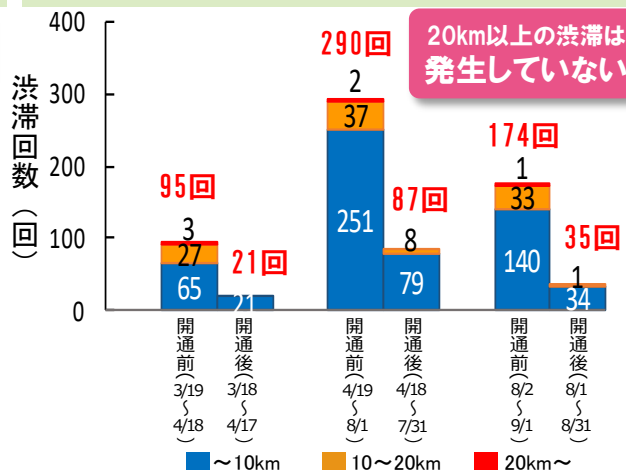


出典：中日本高速道路(株)資料
※対象期間 令和元年8月1日(木)~8月31日(土)

新名神・東名阪道の交通量変化



東名阪道の交通集中による渋滞発生回数(四日市JCT~亀山JCT)



※「渋滞」の定義：速度40km/h以下の状態が、1km以上かつ15分以上継続

出典：中日本高速道路(株)資料
※対象期間 開通前 平成30年3月19日(月)~平成30年9月1日(土)
開通後 平成31年3月18日(月)~令和元年8月31日(土)

○ナガシマリゾート（観光施設）では、開通以降、来客者が平均して70分長く滞在。

○新名神沿線のゴルフ場では、東名阪道の渋滞が緩和されたことで県外からの来客数が約2割増加するとともに、プレー開始時刻の遅延者も減少。

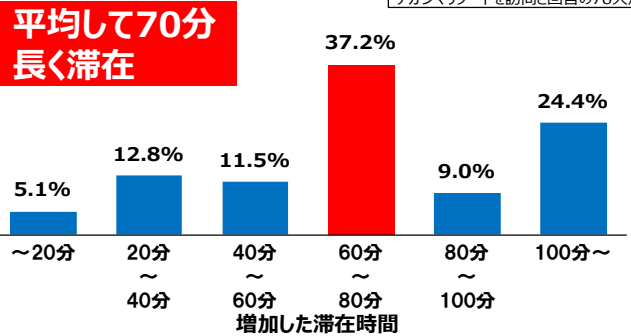
開通区間沿線観光施設



ナガシマリゾート訪問者の滞在時間の変化

Q. 滞在時間は開通前と比べてどのくらい増加しましたか？

ナガシマリゾートを訪問と回答の78人が対象



ナガシマリゾートの声

- ・ 関西方面や三重県内から渋滞に巻き込まれることが無くなり、団体バスが定時に到着し、出発時間を遅くすることで、お客さまには施設に長く滞在していただいています。
- ・ 新名神の開通により、浜松と関西を結ぶ高速バスが、当施設への経路を決定。そのおかげで浜松のお客さまがバスで来るのに、名古屋駅を經由せず、直接来訪できるようになりました。



ナガシマリゾート

※ヒアリング調査より

三重カンツリークラブの声

- ・ 開通後徐々にお客さまが増加しており、特に愛知県方面から増えています。
- ・ また、新名神開通により利便性が高くなり、プレー開始時刻に遅れるお客さまが減りました。

三重県除く中部地域からの来客数変化



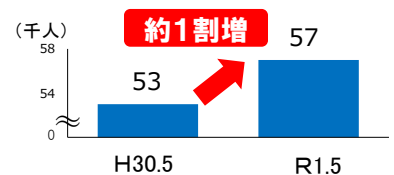
三重カンツリークラブ

※ヒアリング調査より

鈴鹿サーキットの声

- ・ 東名阪道の渋滞が緩和したことで、当施設全体では、愛知県方面からのお客さまが増えました。
- ・ 渋滞に巻き込まれることも少なくなり、これまでに比べて早くからお越し頂くようになっています。

イベント開催時の入場者数 (SuperGT (第3戦))



(株)モビリティランド

※ヒアリング調査より

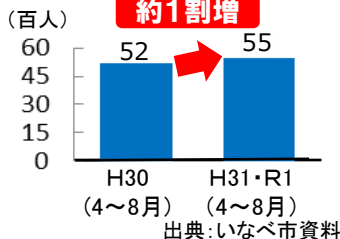
○東海環状道沿線の三重県いなべ市では、市内の観光施設の周遊がされており、東海環状道の開通以降、各観光施設の入り込み客数は約1割増加。
 ○いなべ市の観光施設「にぎわいの森」では、オープン以降約20万人が来場。

三重県いなべ市の各観光施設の入込客数

いなべ市農業公園



出典:いなべ市



にぎわいの森



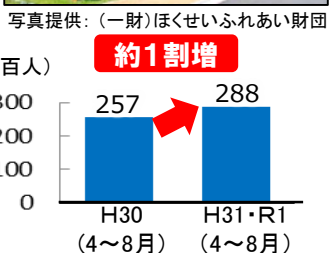
出典:いなべ市

令和元年5月18日(土)オープン

**オープン~8月末で
約20万人来場**

※観光拠点となり
市内を観光

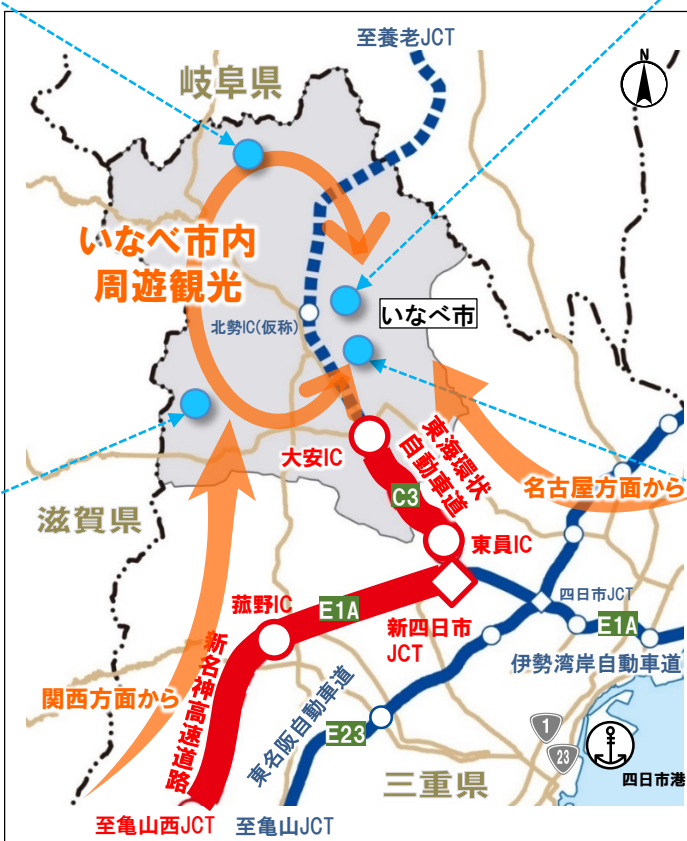
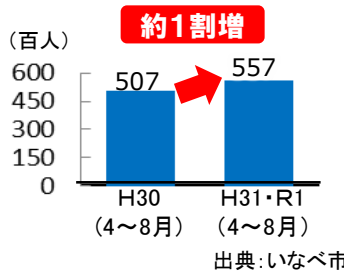
あおがわきょう 青川峡 キャンプパーク



あけきおんせん 阿下喜温泉



出典:いなべ市



■ 新名神・東海環状道(平成31年3月17日開通区間)
 ■ その他高速道路ネットワーク
 ■ 東海環状道未開通区間
 ■ 一般国道

いなべ市役所 観光担当者の声

- 東海環状道の開通に合わせて観光拠点として整備した「にぎわいの森」はオープン4ヶ月で延べ約20万人のお客さまが来場しました。
- 周辺施設を周遊していただき、昨年より入込客数が約1割増加しています。
- 名古屋や関西方面からも来ていただき、東海環状道の大安IC開通との相乗効果を実感しています。



いなべ市役所
担当職員

青川峡キャンプパークの声

- 開通前の昨年と比べ、利用者は約1割増えました。
- 東海環状道の大安ICや新名神の菟野IC開通により、利便性が良くなり、関西方面からのお客さまが増えました。
- キャンプから帰る際に、にぎわいの森や阿下喜温泉へ立ち寄られているようです。



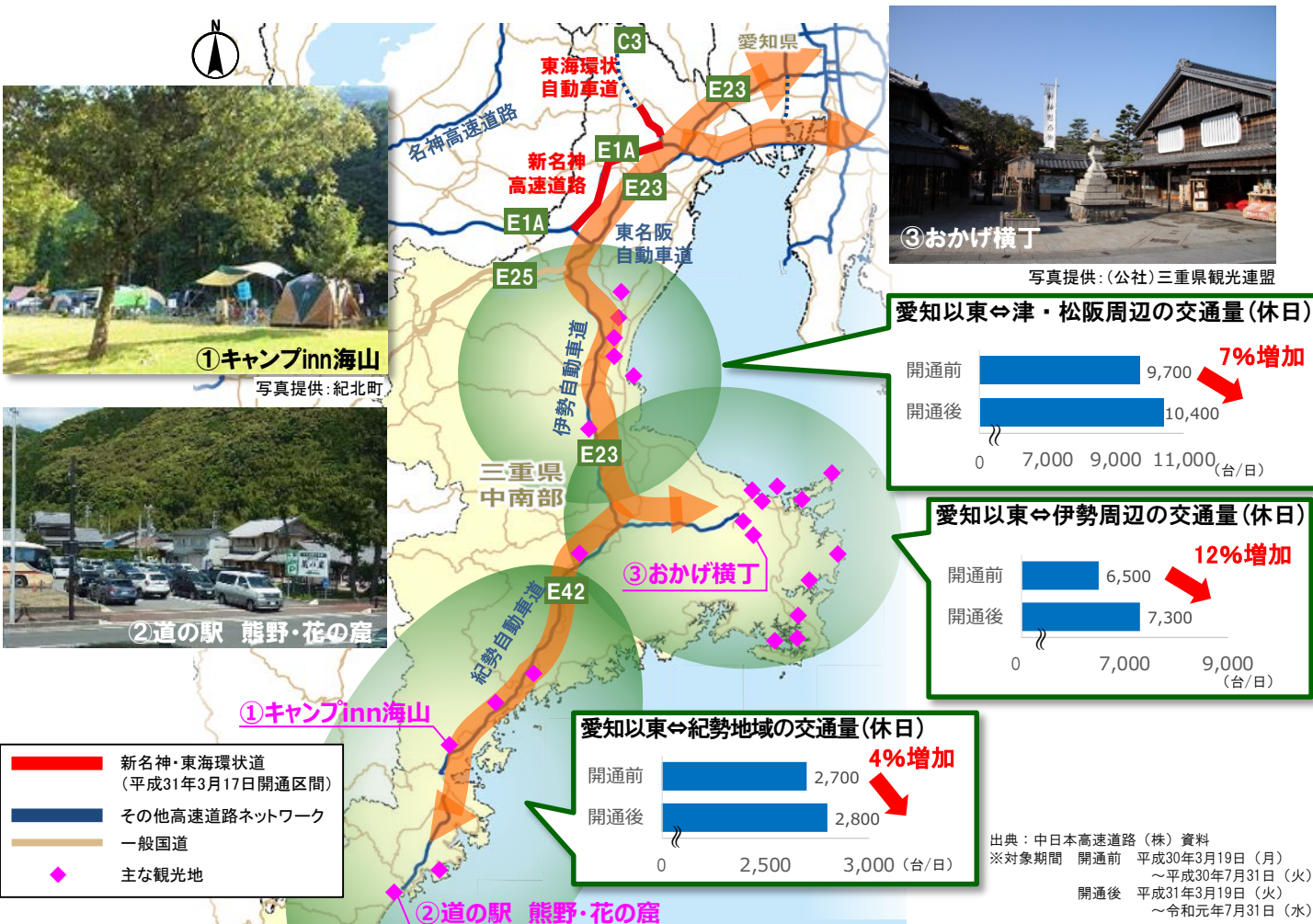
青川峡
キャンプパーク
支配人

開通効果③ 三重県中南部の観光需要が拡大

○新名神の開通後の休日において、愛知県以東から三重県中南部への交通量が最大約12%増加。

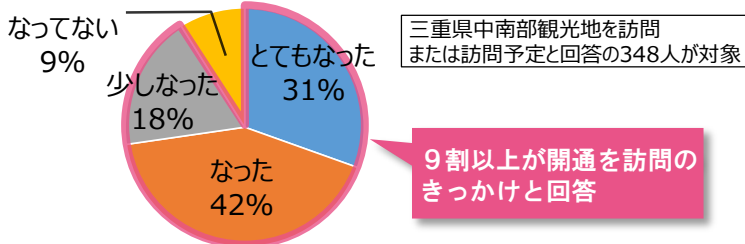
○Webアンケート調査において、今回の開通が三重県中南部の観光地を訪問するきっかけになったとの回答が、全体の約9割。

三重県中南部の観光施設と東名阪道・伊勢道・紀勢道

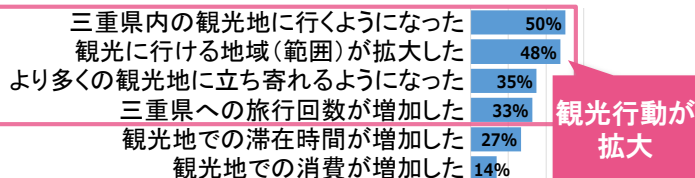


三重県中南部観光来訪者の行動変化

Q. 今回の開通が、観光・レジャー施設に訪れるきっかけになるか？



Q. 開通前に比べ、あなたの観光行動に変化があるか？



三重県中南部観光地を訪問または訪問予定と回答の348人が対象

出典：国土交通省 Webアンケート調査 (令和元年8月)

三重県中南部観光地の声

・新名神の開通によって、来客が増えています。

・これまで、お客さまは渋滞を心配して早めに帰っていましたが、開通後は、帰る日にもゆっくりと川遊びを楽しんでから帰られています。



・開通後の3～8月の売り上げは、昨年比で約1割増加しました。

・愛知、岐阜をはじめ、開通した菰野、東員などの沿線地域からの来客も増えています。



※ヒアリング調査より

- 新名神の開通に伴う東名阪道の渋滞緩和により、三重県内の製造企業では、愛知県西三河地域への輸送時間が短縮、時間信頼性も向上。
- 製造企業では、輸送時間の短縮により、ドライバーの負担が軽減され、安全運転の向上による事故軽減にもつながると期待。

三重県の製造企業の自動車部品の輸送経路



自動車部品製造企業 物流担当者の声

- ・東海環状道の大安ICの開通に伴い、いなべ工場と西三河地域の取引先への輸送時間が10分程度短縮し、定時性も向上しました。
- ・東海環状道が名神へ接続されれば、ダブルネットワークで結ばれ、緊急時の代替経路が確保されると期待してます。



自動車部品製造企業A

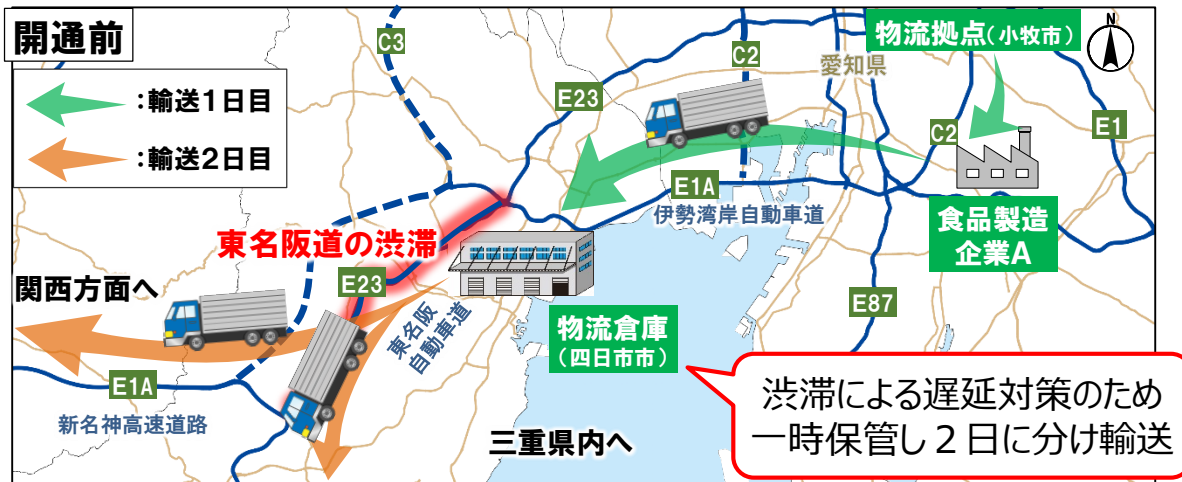
- ・新名神の開通に伴い、東名阪道の渋滞回数が大幅に減少し、輸送時間が30分程度短縮し、計画通りの運行が出来るようになりました。
- ・ドライバーは十分な休憩時間が取れ、精神的な負荷が軽減し、安全運転につながっています。
- ・燃料費の減少など、今後の物流コスト低減にも期待してます。



自動車部品製造企業B

○新名神開通に伴う東名阪道の渋滞緩和により、東名阪道の渋滞遅延対策としての物流倉庫における一時保管を行わず、愛知県の工場から直接出荷が可能となり、輸送コストの大幅な削減が図られている。

新名神開通前後の物流の変化



食品製造企業 物流担当者の声

- ・ 三重・関西方面への商品の出荷は、食品流通の物流拠点である小牧市や愛知県内の本社工場から輸送していますが、東名阪道の渋滞影響による出荷の遅れ対策として、四日市市に倉庫を借り、納品日までに一時保管していました。
- ・ 東名阪道の渋滞減少により、一時保管せずに当日1台で輸送可能となり、車両と保管コストが削減できました。
- ・ 定刻運行により納品の遅延トラブルも減少し、企業の信頼性も向上しました。



食品製造企業A